

東大和市教委教育目標

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び考え行動する、個性と想像力豊かな人間

学校教育目標

- 知育・徳育・体育のバランスの取れた教育活動を推進し、心豊かでたくましい日本人を育成する。将来自己実現するための学力・体力・粘り強く努力する気力を培う。
- ・自ら考え、学び続ける生徒（重点教育目標）
 - ・豊かな心を持ち、自他を尊重する生徒
 - ・健康で、たくましく生きる生徒

目指す生徒像

- ・基礎的な知識や技能を身に付け、論理的に考え判断する生徒
- ・多様な価値観をもつ生徒
- ・自尊感情の高い生徒
- ・自他の健康や安全に配慮する生徒
- ・簡単にあきらめず、粘り強く課題の解決に取り組む生徒

学校経営方針

東大和市教育委員会教育目標や本校の学校教育目標（「自ら考え、学び続ける」「豊かな心を持ち、自他を尊重する」「健康で、たくましく生きる」）の実現に取り組む生徒の育成を目指す。

各教科の指導の重点

- ・総合的な学習の時間を軸として全教科等で共通した学習形態（グループ学習）を導入し、探究のプロセス（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現）の中で、生徒が相互に意見を出し合いまとめ合い発表し合うことで学びを広げ深める。
- ・探究プロセスの中で1人1台端末を活用して多様な他者と共に問題の発見や解決に挑む**個別最適な学び**と協働的な学びに取り組む。

指導目標

- 本校では、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、「確かな学力」の育成を推進する。
- ・総合的な学習の時間を軸とした学びの充実を目指し、探究プロセスを通して問題解決的な活動を繰り返し、各教科等の学習と往還することにより学びを広げ深める。
 - ・学力向上プロジェクトチームが中心となり、GIGAタイムで「思考のツール」としての1人1台端末の活用方法を研究し、分かる、面白い授業を実践する。
 - ・校則の見直しについて生徒会との協議を基にして、学校と保護者、地域が知恵を出し合い、「地域と共にある学校」を創造する。
 - ・四中人權宣言を生活の基盤として、生徒を大声で叱責せず、生徒自身に学校生活の諸問題を考えさせることを通して、生徒の自己肯定感を高める。
 - ・学校の情報の「見える化」のため、電子メールや1人1台端末を活用して説明責任を果たす。

特別の教科 道徳の指導の重点

- ・「総合的な学習の時間を軸とした学びの充実」との関連を図り実施する。
- ・学校・家庭・地域が一体となった道徳教育を推進する。

進路指導の重点

- ・総合的な学習の時間を軸として主体的に進路を選択できるようキャリア形成と自己実現を図る。

特別活動の指導の重点

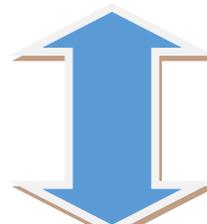
- ・総合的な学習の時間の「探究」を軸として、学級活動や生徒会活動、学校行事の取組の中で、互いのよさを生かす人間関係を自主的、実践的に形成する。

総合的な学習の時間

- ・東大和市 GIGA スクール構想の STEP3 を踏まえ、社会的な課題の解決や夢の実現に取り組む。
- ・4人班を基準とするグループ学習の形態の中で探究プロセスを通して問題解決的な活動を繰り返し、学びを広げ深める。

生活指導の重点

- ・基本的な生活習慣や明るく元氣なあいさつ、丁寧な言葉づかいを身に付けさせる。
- ・規範意識を高め、マナーや時間を守る意識、物を大切にできる態度等を育む。
- ・「四中人權宣言」を活用し、人権について考えさせる機会を設ける。
- ・いじめや暴力の予防と早期発見、早期対応や、不登校生徒への速やかな対応等に努める。



本校の授業改善に向けた視点

学習内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
向上心や意欲を高め、主体的・対話的に学ぶ姿勢や家庭学習の充実を図る。地域未来塾を活用する。	カリキュラム・マネジメントを充実させ、創意工夫のある教育課程の編成と実施を図る。	全校体制で「学力の向上」「人権教育」の取組を推進する。計画的・組織的に研修・研究に取り組む。	教員の授業改善及び指導法の工夫を通し、指導と評価の一体化を図る。評価を分析し、指導に反映させる。	ボランティア活動など、コミュニティ・スクールとして地域連携を図る。